

教科・科目	公民・公共	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	2	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：現代社会				

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	高等学校 改訂版 新公共（第一学習社）

### 2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

### 3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	公共の扉 法的な主体となる私たち 政治的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	公共の扉 法的な主体となる私たち 政治的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

### 4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用 (NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 公共の扉	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/16	第1/2 /3回		
	3		4								
	② 法的な主体となる私たち	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/7	第6/7 /8回		
	3		4								
	③ 政治的な主体となる私たち	前3	1	2	5/24	—	5/26	5/21	第4/5/ 14-16回		
	3		4								
	④	この回は、実施されません。									
	⑤ 経済的な主体となる私たち ①	前4	1	2	6/21	—	6/23	6/18	第9-13 回		
3	4										
⑥ 経済的な主体となる私たち ②	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/2	第17回			
3		4									
⑦ 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/16	第18/ 19/20回			
3		4									
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨ 公共の扉	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/8	第1/2 /3回		
	3		4								
	⑩ 法的な主体となる私たち	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/22	第6/7 /8回		
	3		4								
	⑪ 政治的な主体となる私たち	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/12	第4/5/ 14-16回		
	3		4								
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬ 経済的な主体となる私たち ①	後4	1	2	12/6	—	12/8	12/3	第9-13 回		
3	4										
⑭ 経済的な主体となる私たち ②	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/17	第17回			
3		4									
⑮ 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/7	第18/ 19/20回			
3		4									
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4			

## 6 先生からのメッセージ

理解を深めるために、できるだけ毎回のスクーリングに出席しましょう。公共の学習を通じて、自分自身の在り方や生き方、私たちが暮らす社会の在り方、政治・経済の動向、世界の動きなどに関心をもっていきましょう。分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	公民・倫理	単位数	2 (前期)		
		ライン	4	開講期	前期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：倫理				

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 人間としての在り方や生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>
使用教科書 副教材等	高等学校 倫理 (第一学習社)

### 2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身に付けている。	人間としての在り方や生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。
評価点	前期 50 点	前期 50 点	前期 50 点

### 3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	人間の心と自己形成 人間の存在や価値と宗教 人間のあり方と社会 現代の人間と社会をとらえる思想 国際社会に生きる日本人としての自覚 現代の諸課題と倫理	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期				

### 4 単位修得の条件 (次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。)

スクーリング	2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回に合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。  
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

## 5 学習の記録

スクーリング回数		添削担当者	先生				登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 人間の心と自己形成 人間の存在や価値と宗教	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/16	第6-10回	
			3		4						
	② 人間のあり方と社会	前2	1		2	5/10	—	5/12	5/7	第17/18回	
			3		4						
	③ 現代の人間と社会をとらえる思想	前3	1		2	5/24	—	5/26	5/21	第19/23/ 24/26回	
			3		4						
	④	この回は、実施されません。									
	⑤ 国際社会に生きる日本人としての自覚①	前4	1		2	6/21	—	6/23	6/18	第28/ 29/30回	
3				4							
⑥ 国際社会に生きる日本人としての自覚②	前5	1		2	7/5	—	7/7	7/2	第31/ 32回		
		3		4							
⑦ 現代の諸課題と倫理	前6	1		2	7/19	—	7/21	7/16	第33/ 34/35回		
		3		4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試		8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨	後1	1		2						
			3		4						
	⑩	後2	1		2						
			3		4						
	⑪	後3	1		2						
			3		4						
	⑫	後4	1		2						
			3		4						
⑬	後5	1		2							
		3		4							
⑭	後6	1		2							
		3		4							
⑮	—										
⑯											
試験			本試験		追再試						

## 6 先生からのメッセージ

私たちが生きている社会には多くの課題があります。これらの課題を解決する際に助けになるのが、先哲の思想です。彼らも、私たちが直面しているのと同じような問題に遭遇し、それぞれの時代の中で考えてきました。思想は決して完全な解ではありませんが、人生や社会の導きとなってくれます。よりよい生き方をするために、基本的な知識を身に付けていくために、できるだけ毎回のスクーリングに出席し、分からなければ教科別質問教室で解決しましょう。

教科・科目	公民・政治・経済	単位数	2（後期）		
		ライン	4	開講期	後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：政治・経済				

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 社会の在り方にかかわる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	政治・経済（東京書籍）

### 2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会の在り方にかかわる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。
評価点	後期 50 点	後期 50 点	後期 50 点

### 3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期				
後期	現代日本の政治 現代日本の経済 現代日本の諸課題 現代の国際政治 現代の国際経済 国際社会の諸課題	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

### 4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	後期1回に合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。  
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用 (NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	前1	1		2						
			3		4						
	②	前2	1		2						
			3		4						
	③	前3	1		2						
			3		4						
	④	前4	1		2						
			3		4						
⑤	前5	1		2							
		3		4							
⑥	前6	1		2							
		3		4							
⑦		—									
⑧											
試験			本試験		追再試						
後期	⑨	後1	1		2		10/11	—	10/13	10/8	第2/3/ 5-7回
			3		4						
	⑩	後2	1		2		10/25	—	10/27	10/22	第8-10 /12/13回
			3		4						
	⑪	後3	1		2		11/8	—	11/10	11/12	第29/30/ 31/34回
			3		4						
	⑫	この回は、実施されません。									
	⑬	現代の国際政治	後4	1		2		12/6	—	12/8	12/3
3					4						
⑭	現代の国際経済	後5	1		2		12/20	—	12/22	12/17	第20/21/ 35-37回
			3		4						
⑮	国際社会の諸課題	後6	1		2		1/10	—	1/12	1/7	第28/ 41/42回
			3		4						
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試		2/7	—	2/9	2/4	

## 6 先生からのメッセージ

政治や経済に関するさまざまな問題について課題意識を持ち、知識を身に付け、判断力を養うことは、将来、自立した市民になる上で不可欠です。現代社会がはらむ問題点や課題を意識しながら、主体的に学ぶ視点を持つようにしてください。そのために、できるだけ毎回スクーリングに出席し、不明な点があれば、教科別質問教室に参加しましょう。